



2023年2月期 第3四半期

決算説明資料

2023年1月11日

株式会社イートアンドホールディングス

(証券コード: 2882)

- グループ全体で増収増益
 - 売上高は24,483百万円(前期比107.2%)、営業利益は735百万円(前期比116.9%)。
- セグメント別では食品事業・外食事業ともに増収増益(営業利益ベース)
 - 食品事業は、冷凍食品市場の成長に伴い伸長。餃子カテゴリーだけでなく中華カテゴリーを強化し、過去最高のセグメント売上高を更新。
2022年9月には関東第三工場が竣工し、更なる生産性向上、効率化に注力。
 - 外食事業は、主力の「大阪王将」で引き続き生活立地型の出店を推進。
ラーメン業態の「太陽のトマト麺」、「よってこや」は共に、リブランドによるテコ入れを実施。
- 新たな取り組みも推進
 - アールベイカーは、焼立てパンと冷凍パンを販売する新業態「YOUR OVEN」が話題。
 - 海外事業は、メニューなどのブラッシュアップに注力。中国情勢の影響を受けつつも、2022年12月、中国・台湾において各1店舗を出店。
 - EC事業は、期間限定商品の投入などにより、大阪王将公式通販の更なる拡大と、外食ECを推進。

1. 2023年2月期 第3四半期 連結決算

- ・バランスシート of 状況 (連結)
- ・損益 of 状況 (連結)
- ・2023年2月期 業績予想

2. 施策と今後の取り組み

- ・食品事業
- ・外食事業
- ・新規事業

3. イートアンドグループの概要

1. 2023年2月期 第3四半期 連結決算

バランスシートの状況(連結)

(単位:百万円)	2022年 2月末現在	2022年 11月末現在	備考
資産の部	20,514	23,478	
流動資産	9,044	10,053	売掛金、商品及び製品の増加
固定資産	11,470	13,424	新工場(関東第三工場)建設 外食事業新規出店による増加
負債の部	12,709	15,293	
流動負債	9,232	10,400	買掛金、未払金、 短期借入金の増加
固定負債	3,477	4,892	長期借入金の増加
純資産の部	7,805	8,184	

損益の状況(連結)

(単位:百万円)	2022年2月期 第3四半期(累計)	2023年2月期 第3四半期(累計)	前期比
売上高	22,828	24,483	107.2%
食品(構成比)	13,753(60.2%)	14,831(60.6%)	107.8%
外食(構成比)	9,074(39.8%)	9,651(39.4%)	106.4%
売上総利益	9,367	10,037	107.2%
販売費及び一般管理費	8,738	9,302	106.5%
営業利益	629	735	116.9%
営業利益率	2.8%	3.0%	+0.2pt
経常利益	1,139	876	76.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	530	404	76.3%

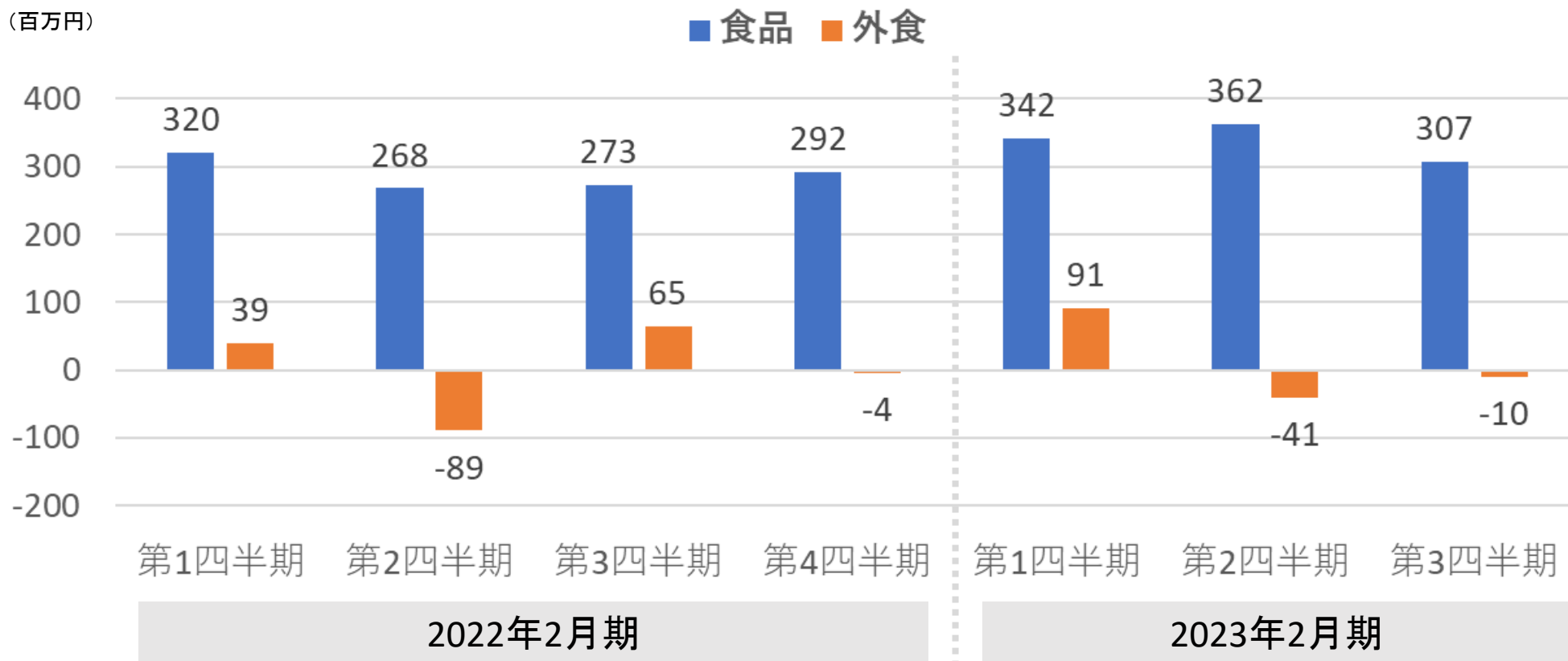
※営業外収益として計上していた新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の収入は125百万円(前期比392百万円減少)

損益の状況(セグメント別)

(単位:百万円)		2022年2月期 第3四半期(累計)	2023年2月期 第3四半期(累計)	前期比
食品	売上高	13,753	14,831	107.8%
	セグメント利益	861	1,011	117.4%
	利益率	6.3%	6.8%	+0.5pt
外食	売上高	9,074	9,651	106.4%
	セグメント利益	15	40	271.1%
	利益率	0.2%	0.4%	+0.2pt
調整額	セグメント利益	△247	△316	—

第3四半期(単体)で外食事業は前年割れも、食品事業が業績を牽引

セグメント別 営業利益推移



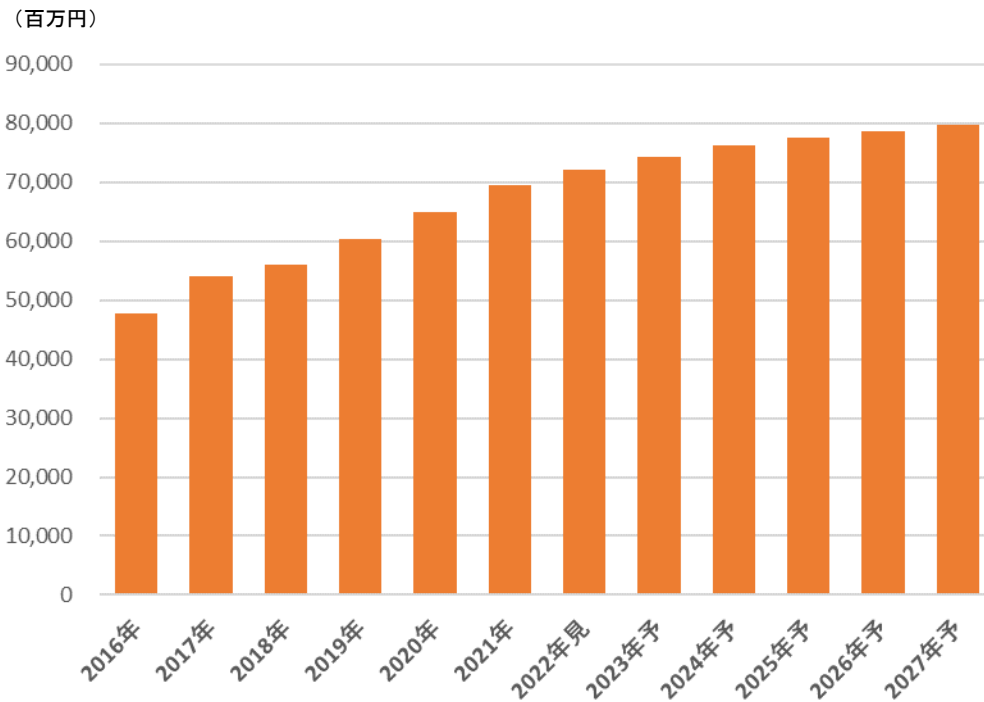
(単位:百万円)	第3四半期実績 (累計)	前期比	通期予想 (累計)	前期比	進捗
売上高	24,483	107.2%	33,470	108.4%	73.1%
営業利益	735	116.9%	1,100	131.8%	66.8%
経常利益	876	76.9%	1,108	75.0%	79.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	404	76.3%	500	64.6%	80.8%

- 2022年4月12日に公表した通期業績予想からの修正はございません。

2. 施策と今後の取り組み

冷凍餃子の市場規模

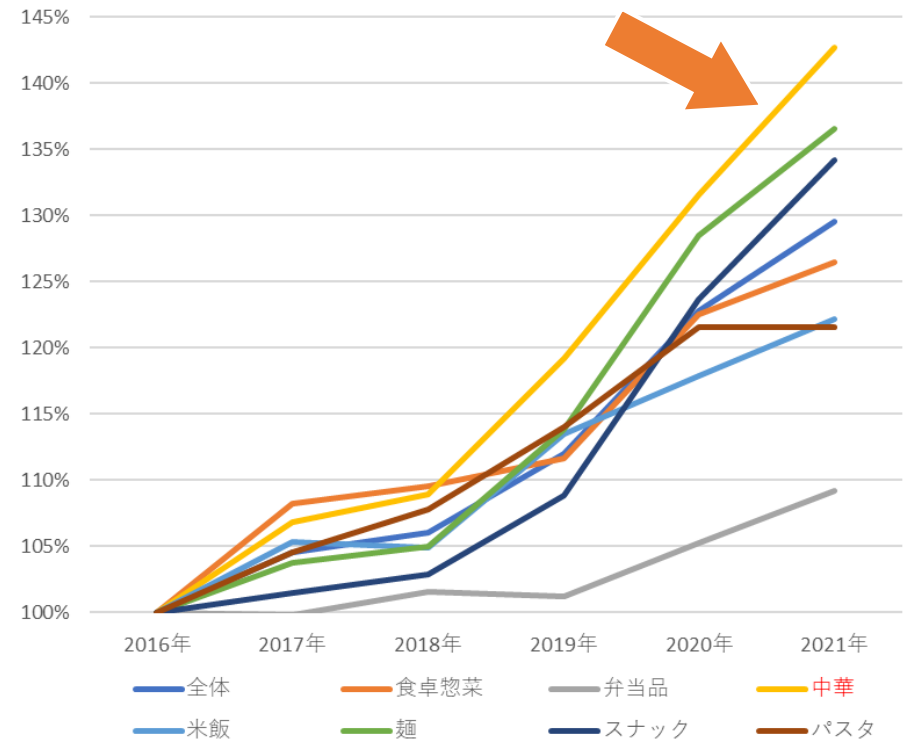
冷凍餃子市場は年々規模を拡大。



※餃子・水餃子の合計。販売額ベース
 ※富士経済「2023年 食品マーケティング便覧」より

冷凍調理市場のカテゴリー別伸長率

冷凍調理市場を「中華」が牽引。

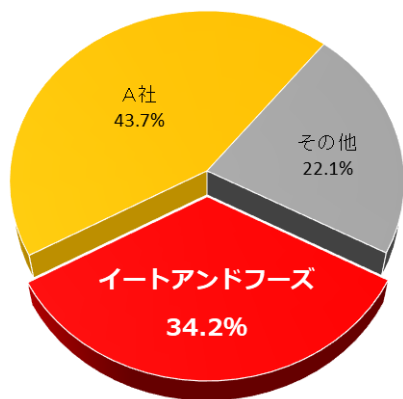


※各年4月～翌3月の100人あたり平均購入規模。2016年実績を100%として算出
 ※インテージSCIより

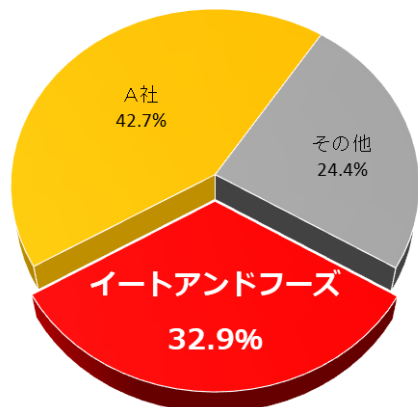
高シェアと市場拡大を背景に、冷凍餃子の売上高は伸長（前期比106.8%）

冷凍餃子（焼き餃子・水餃子）

2021年3月～2021年11月

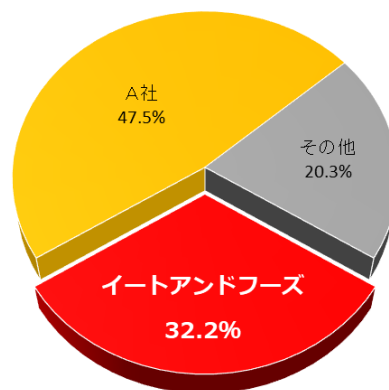


2022年3月～2022年11月

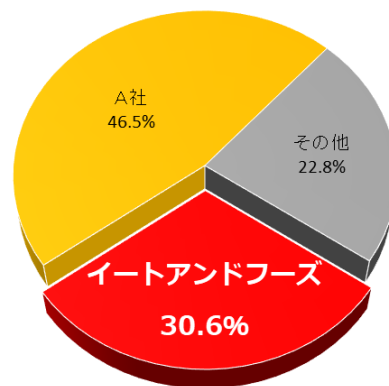


冷凍焼き餃子

2021年3月～2021年11月

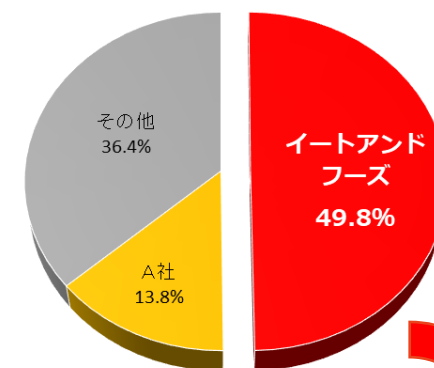


2022年3月～2022年11月

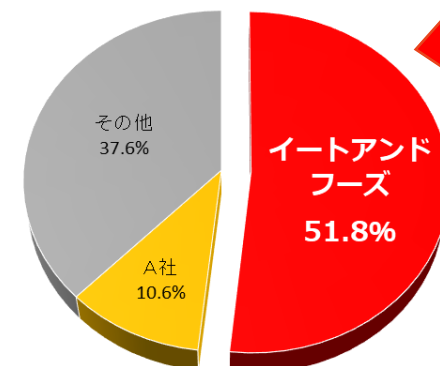


冷凍水餃子

2021年3月～2021年11月



2022年3月～2022年11月



主力商品の羽根つき餃子を中心に、中華カテゴリーを強化

2022年春夏新商品

大阪王将の味を再現したラーメンなどが新登場。「金華スープの醤油ラーメン」好調。



2022年秋冬新商品

大阪グルメを再現した“なにわシリーズ”の商品を、2022年8月より全国の量販店で販売開始。



焼き餃子

新登場



水餃子



2種類パッケージ

麺類

新登場



点心・揚物

新登場



調味料・加工食品

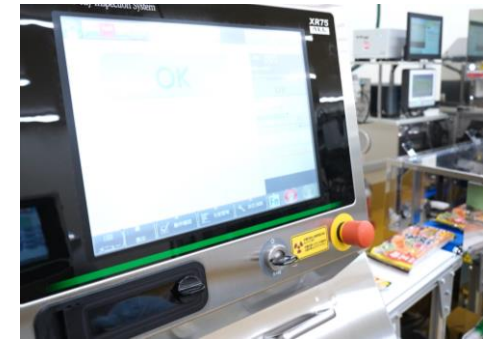
新登場



主力商品の需要増加に対応すべく生産設備を増強



- 新技術を積極的に導入し、高品質と安全性の追求、および低コスト運営の両立を目指す。
- 関東工場全体の生産能力は約4,400t／月へ増加する見込み(関東第三工場フル稼働時)。



自動回避



設備の一部が異常停止した際、製品をライン上から回避し、一時的に蓄積する「アキュム装置」を導入。ライン全体の停止を防ぎ、トラブル時の製品ロスを削減。

自動運搬



無人搬送車 (AGV) の導入により、原料の運搬作業を自動化。運搬距離は、1日あたり延べ5km。

検査の自動化



AIカメラによる自動判別とロボットによる排出によって、検査を自動化。「機械の眼」により異物混入や個数不足などを防止。

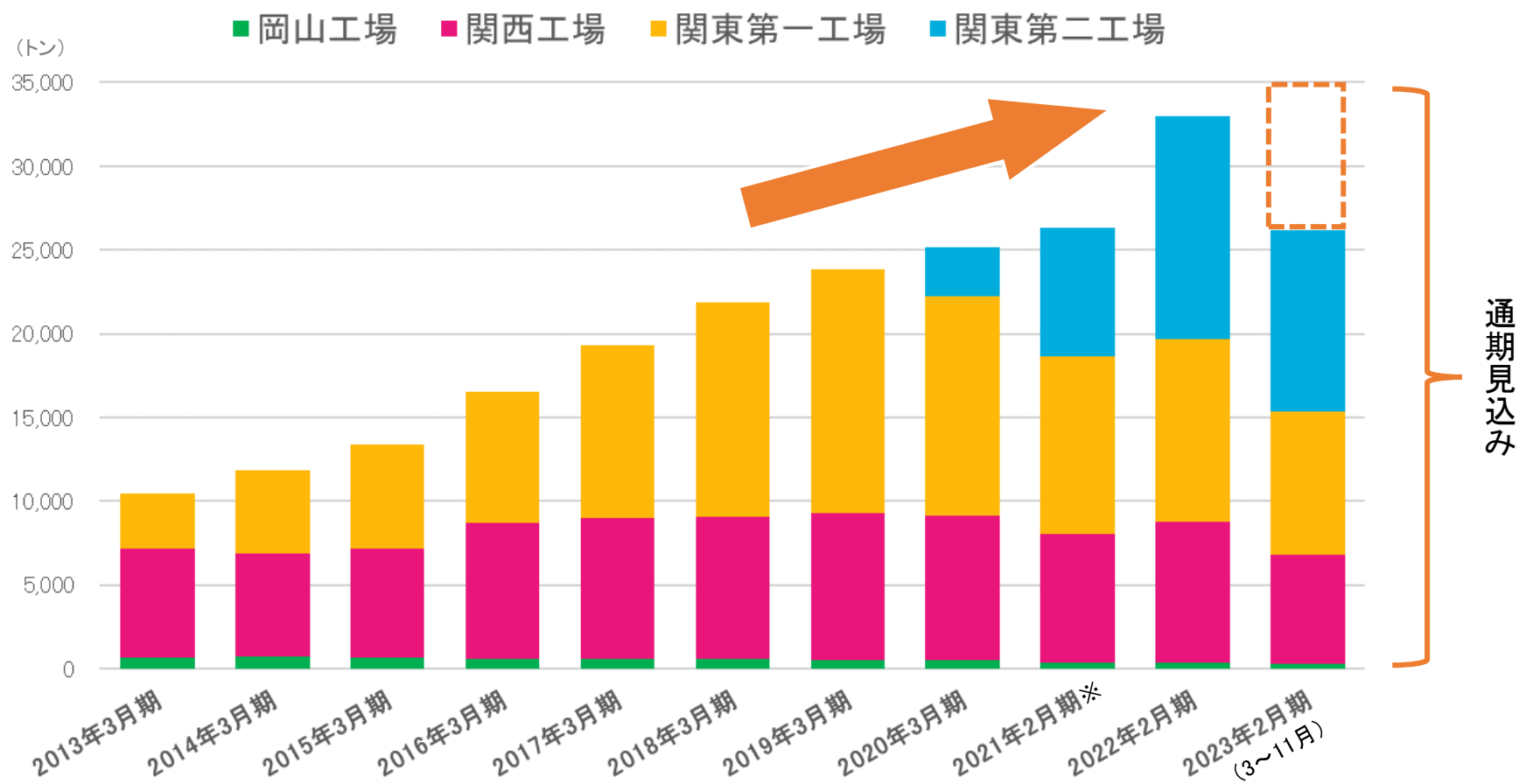
IoT



各機器をオンラインでつなぐことで、タイムリーに製造状況を管理。生産速度、歩留を自動調整し、設備の故障も事前に察知。

第3四半期(累計)の生産量は26,154トン(前期比105.0%)
 通期の生産量見込みは約35,000トン(前期比106.1%)

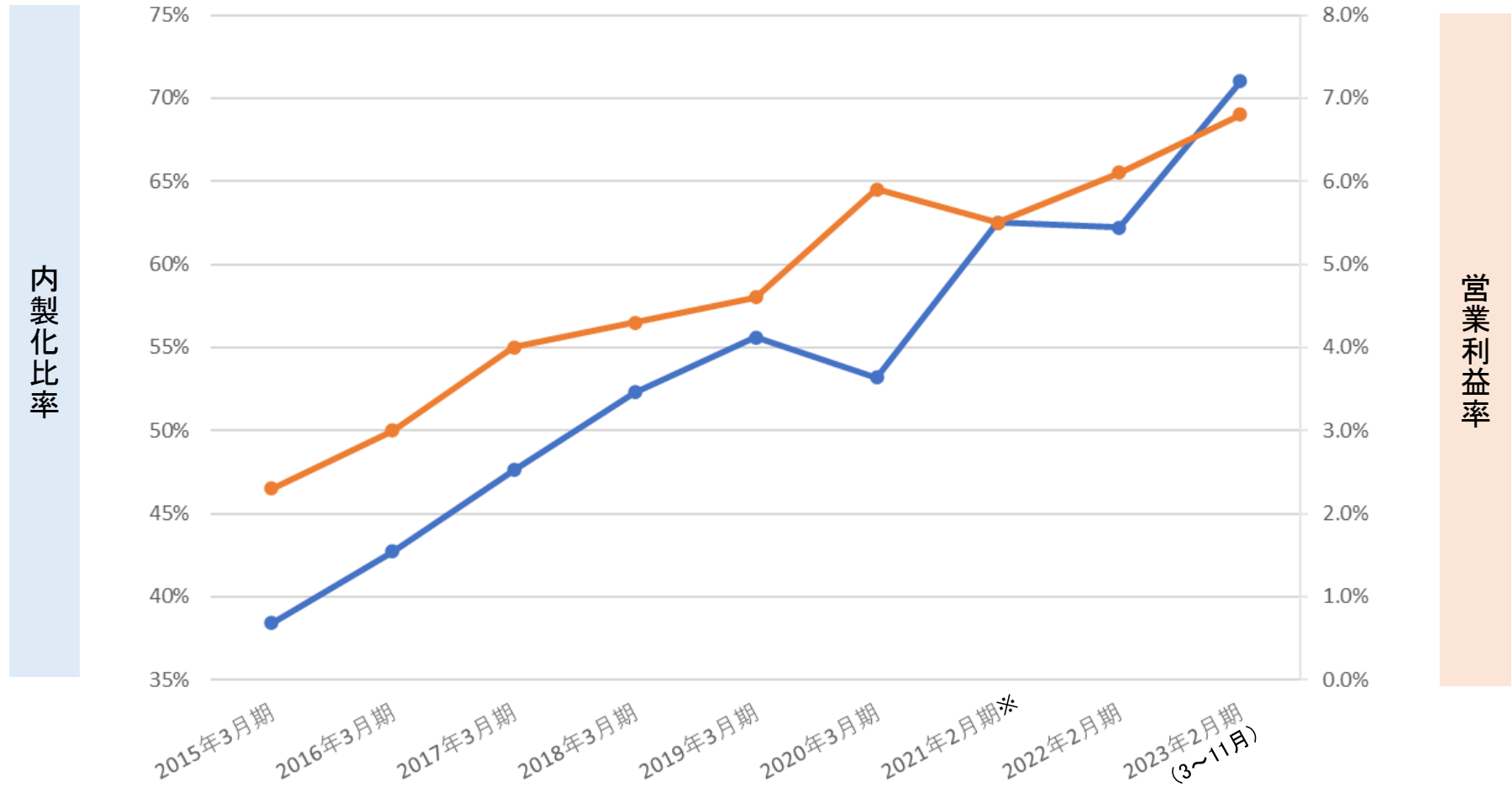
工場生産量推移



※2021年2月期は決算月変更に伴い11カ月実績

食品セグメントの内製化比率と営業利益率の推移

● 内製化比率（左軸） ● 食品セグメント営業利益率（右軸）



※2021年2月期は決算月変更に伴い11カ月実績

店舗数は前期比+2店舗の474店舗へ

(単位:店舗)		2022年2月末			2023年2月期 第3四半期(累計)						2022年11月末		
		店舗数			出店数			退店数			店舗数		
		直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店
国内	大阪王将	48	313	361	6	9	15	8	10	18	46	312	358
	ラーメン	11	18	29	2	0	2	2	3	5	11	15	26
	ベーカリー・カフェ	21	10	31	1	1	2	0	0	0	22	11	33
	一品香	8	2	10	1	0	1	1	0	1	8	2	10
	その他業態	12	1	13	7	0	7	1	0	1	18	1	19
海外		7	21	28	0	2	2	0	2	2	7	21	28
グループ計		107	365	472	17	12	29	12	15	27	112	362	474

大阪王将

地域密着型店舗「街中華モデル」を展開。



※写真は藤が丘店(愛知県・10月4日オープン)

太陽のトマト麺

チーズに特化した新スタイル店舗を出店。



※写真は「ミーツ国分寺店」(東京都・10月29日オープン)

R Baker

FCの新店舗がオープン。



※写真は気仙沼店(宮城県・12月8日オープン)

よってこや

「屋台原風景」をコンセプトにリブランド。

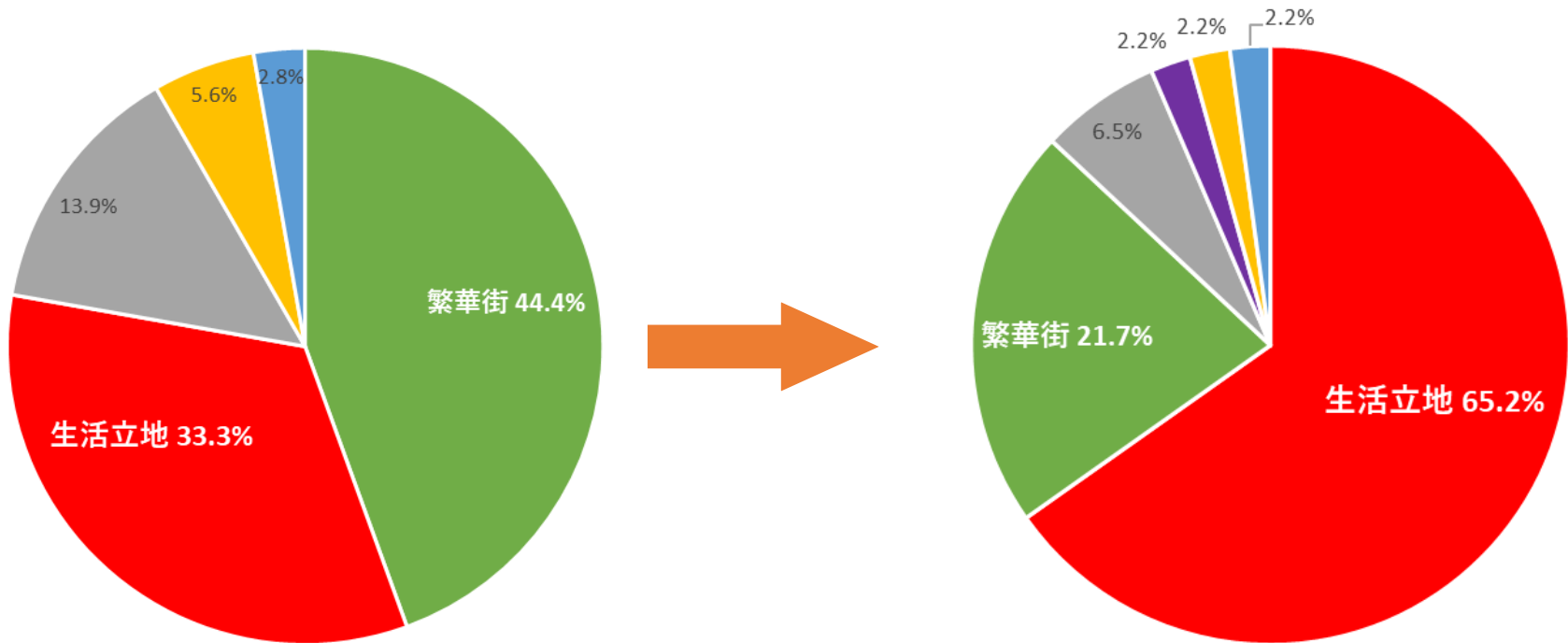


※写真は「センター北あいたい店」(神奈川県・11月25日オープン)

生活立地へのシフトを積極的に進めた結果、生活立地店舗の割合は新型コロナウイルス感染症拡大前と比べ65%以上に倍増

立地形態別内訳の変化（直営店）

■ 繁華街 ■ 生活立地 ■ ロードサイド ■ 商業施設 ■ 宅配 ■ フードコート



<2020年3月末現在>

<2022年11月末現在>

期間限定メニュー開発やキャンペーンを実施

この街の味 静岡の宝
国宝級
 これぞ国宝級お宝めし

始まりの肉チャーハン

期間限定

ルースー炒飯の源流
 キヤベツが旨い、稲取肉中華

単品(スープ付き) **790円** 税込
 餃子セット(スープ付き) **1080円** 税込

お持ち帰りOK!
※スープは付きません。

この街の味 あこの街の宝
国宝級
 これぞ国宝級お宝めし

食べるつながるめし文化

この街の味 あこの街の宝

大阪王将

大阪王将
 OSAKA OSHHO

大感謝祭

食べた分だけもらえる
 いつもお店に来てくれて
 ほんまおおきに!
 ぜひお腹いっぱい食べてな。

餃子1人前無料券
 配布期間 **2022年 11月21日(月)～30日(水)**

餃子1人前無料券
 配布期間 **2022年 12月1日(木)～2023年 1月31日(火)**

餃子無料券
 プレゼント

※各店舗の配布状況は異なります。
 ※餃子1人前無料券は、お持ち帰り餃子1人前専用です。
 ※餃子1人前無料券は、お持ち帰り餃子1人前専用です。
 ※餃子1人前無料券は、お持ち帰り餃子1人前専用です。
 ※餃子1人前無料券は、お持ち帰り餃子1人前専用です。

2022年5月、食品ロスが出ない仕組みとともに、焼立てパンと冷凍パンを販売する「YOUR OVEN」がオープン。サステナブルな新業態として話題に



札幌みそぎょうざ

冷凍生餃子の無人販売店「札幌みそぎょうざ」は14店舗に拡大(2022年11月末現在。SAPPORO餃子製造所の併設店を含む)。



くまちゃん温泉

SNSで話題の一人鍋専門店「くまちゃん温泉」は2022年11月、北海道に札幌本館をオープン。宮益坂店(東京都)とあわせ2店舗へ。



上海

2022年12月、3号店の「世紀大道（シージーダーダオ）店」をオープン。浦東エリアに初進出し、新規顧客層の開拓とブランド認知の拡大を狙う。



台湾

2022年12月、台北中心部より北側の住宅街エリアにて、7店舗目となる「農安街(ノンアンジエ)店」をオープン。



大阪王将公式通販の更なる拡大と、外食ECの取り組みを推進

大阪王将公式通販



ラーメンJourney



くまちゃん温泉



太陽のトマト麺



3. イートアンドグループの概要

日常のあらゆる食シーンに、新しい食文化を創造する 「食のライフプランニングカンパニー」

Eat & Holdings



Eat& INTERNATIONAL

食品事業		外食事業			海外
冷凍食品の 製造販売	冷凍食品の 通信販売	中華・ラーメン業態の 直営店・FC本部運営 食材の卸・販売	カフェベーカリー業態の 直営店・FC本部運営 食材の卸・販売	中華・ラーメン業態の 直営店・FC本部運営	海外における 直営店・FC本部運営



食を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献し、
+ &の発想で、
ワクワクする未来を生み出し続けます。

サステナビリティ基本方針

Eat+&の幸せを次の世代へ。

「地球環境」「地域社会」「人とのつながり」を大切にし、
全てのステークホルダーの幸福につながる
持続可能な社会の実現を目指します。

7つの重点取組み

Environment 環境

食品ロス削減
CO2削減

Social 社会

地域との共生
ダイバーシティ
健康経営

Governance ガバナンス

理念の浸透
グループ経営

- 社 名 ➤ 株式会社 イートアンドホールディングス
- 英 文 社 名 ➤ EAT&HOLDINGS Co.,Ltd
- 東京ヘッドオフィス ➤ 東京都品川区東品川4-12-8 品川シーサイドイーストタワー15階
- 大阪オフィス ➤ 大阪市淀川区宮原3-3-34 新大阪DOIビル 3F
- 設 立 年 月 ➤ 1977年8月
- 業 種 ➤ 飲食店経営および食品製造・販売
- 代 表 者 ➤ 代表取締役会長 CEO 文野 直樹
代表取締役社長 COO 仲田 浩康
- 資 本 金 ➤ 20億29百万円(2022年11月末現在)
- 発行済株式総数 ➤ 10,169,506株(2022年11月末現在)
- 決 算 期 ➤ 2月末日
- 店 舗 数 ➤ 474店舗(2022年11月末現在)
- 従 業 員 数 ➤ 1,520名(2022年11月末現在)

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。投資に関する決定は、閲覧者ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

株式会社イトアンドホールディングス
経営管理本部
経営戦略部